

大阪府立
国際児童文学館
(吹田市)

ザ・見遊じあむ

児童の本の総合センターとして貴重な文学館



32

日本が世界に誇る 児童本の総合センター

吹田市・万博公園の池のほとりにある大阪府立国際児童文学館は1984年5月5日の「こどもの日」に開館しました。児童文学研究者の鳥越信さんから寄贈された12万点もの資料をもとに設立されたのです。この種の児童館としては日本で最初のもので、その資料の内容や保存状態は世界でも

資料センターの役割としては、明治から現代までの日本で出版された子どもの本が収蔵庫にギッシリと詰まっています。こうした本もすべて閲覧できます。団塊世代には懐かしい雑誌「少年」「冒険王」「なかよし」「りぼん」などの漫画雑誌も見ることが出来ます。また、1階子ども室では

約2万冊の本を提供し、登録カードを作成して借りることもできます。いま、大阪府は4月に就任した橋下徹知事のもとで「橋下改革」と称して、府の27施設などを見直しをしています。この児童館を廃止して中央図書館に統合しようとする試案がでていますが、本来国の施設であつてもおかしくない貴重な施設だけに、存続の声が広がっています。

「ミスト」



衝撃のラストはまさに霧の中

この手と抱き合った
おすずると

日本でもヒットした『ジョーシヤンクの空に』『グリーンマイル』の名コンビ、ステイーヴン・キング原作、フランク・ダラボン監督によるパニック・ミステリーです。霧の中に潜む謎の生物に人々が恐怖におののき、次第にパニックになって常軌を逸していく人間の姿を描いていきます。パニック状態の群集のなかで、混乱する人々をなんとか冷静にまとめようとする主人公に『パニックシャー』のトーマス・ジェーン。混乱をおおる狂信的な宗教信者の中年

女の役にはマーシャ・ゲイ・ハーデンが怪演しています。

ストーリーは……。ガラス窓を破るほどの嵐の翌日、スーパーへ買い出しに出掛けたデヴィッド(トーマス・ジェーン)。軍人やパトカーが慌たたくしく街を往来し、あつという間に店の外は濃い霧に覆われました。設備点検のために外に出た店員のジム(ウイリアム・サドラー)が不気味な物体に襲われると、店内の人々は次第に理性を失いはじめていきます。ミストとは霧のこと

ですが、この映画の霧はいろんな要素を含んでいるようです。冒頭の2つの映画のような感動作ではないのでそのつもりで。ラスト15分が見ものです。思わず目を疑うような、驚がくのエンディング。この結末は観客にとっては意見が分れるところですが、ステイーヴン・キングの原作のラストとは違

このシネマ

ガレいナ

大阪の戦跡を歩く

第31歩

天五中崎商店街の 民家の防空壕跡

(大阪市北区)



「カラト金物店」の店内に残る防空壕

1945年(昭和20年)の大阪は、8月15日の終戦まで米軍機による空襲が相次ぎました。3月15日の大空襲に続いて規模の大きなものが6月1日の大空襲でした。この日、北区を中心にした空襲で、北区の北部、環状線の外側は火の海となり、太融寺の大伽藍も焼け落ちました。お初天神の石の鳥居には飛行機からの機銃による傷痕が今も残っています。

天五中崎商店街もこの空襲で戦禍を浴びましたが、今も商店街で金物店を営む「カラト金物店」の店内には当時の防空壕がそのまま残っています。当時は道路上は通行の邪魔になるとして、自宅内の床下などに防空壕を掘ったといわれています。1畳程度の広さで、「熱くてとても人間が入れるようなものでなく、家の大事なものを入っていた」と店の主人の唐渡保さんはいいます。

撰津

河内 和泉

おおさか 三國誌

32

(貝塚市)

天体観測の祖・岩橋善兵衛



「善兵衛ランド」の中にある岩橋善兵衛の像

貝塚市の山手に「善兵衛ランド」という天文観測の施設があります。施設の名前に付いている善兵衛とは貝塚市が生んだ天文家学者・岩橋善兵衛のことです。「善兵衛ランド」は岩橋善兵衛のため科学する心と当時の最先端の業績を顕彰するために、1992年に建てられました。

岩橋善兵衛は1756年、貝塚の脇浜新町の魚屋に生まれました。幼い頃から利発で、おまけに器用、そして人一倍自然科学に関心が深い善兵衛は、成人してからは眼鏡職人としてレンズの玉を磨き生計をたてていました。またオランダからの渡来品の研究をかさね、物理も学

び、日時計も考案しました。

1793年、善兵衛38歳のとき、苦心をかさねて独自に工夫をした望遠鏡をつくりました。その後も、アイデアと知識を駆使して、舶来品に勝るとも劣らない和製望遠鏡を製作し続けました。当時の日本で、望遠鏡の製作を専業としていたのは善兵衛ただひとりでした。善兵衛の作った望遠鏡は、江戸幕府の天文方をはじめ、日本全土を歩いて測量し、日本地図を作った伊能忠敬も愛用していました。各地の諸大名も天体観測や航海、軍事などで活用しています。

善兵衛は天体観測では、月の満ち欠けや、潮の干満を読み取る星座早見盤などをつくり、江戸期の天文学の発展に大きく寄与しました。善兵衛は1811年に亡くなりましたが、その子孫は、四代にわたって家業として望遠鏡を製作し続けています。

映画や舞台で有名な歌舞伎の演目で「白浪五人男」の狂言名で知られています。その極めつけのセリフは口調のいい七五調。盗賊の首領の日本駄右衛門のセリフ「問われて名乗るもおこまがしいが、生まれは遠州浜松在、十四のときに親に別れ、身の生業も白浪の、沖を越えたる夜はたつき、盗みはすれど非道はせず、人に情けを掛川から、金谷をかけて宿々で、義賊とうわさ高札に、まわる配布のたらい越し、あぶねえその身の境界も、もはや四十に人間の、定めはわずか五十年、六十余州に隠れのねえ、賊徒の張本日本駄右衛門」が有名。

べんてんむすめ おのしらなみ
『弁天娘女男白浪』

河竹 黙阿弥

いまも心に響く 名詩・名歌・名語録

サムエル・ウルマンは1840年に生まれ、1924年に亡くなった、アメリカ合衆国の実業家や詩人、教育者。ドイツ・ヘッピンゲンの出身。ユダヤ系のドイツ人であったため、迫害を避けてアメリカへ渡り、アラバマ州バーミングハムで荒物商を営みながら作品を執筆しました。80歳の記念に自費出版した『80歳の歳月の高見にて』に収められた詩が「青春」。ダグラス・マッカーサー元帥が座右の銘として執務室に掲げたことから日本でも知られるようになり、松下幸之助氏も座右の銘にしていたと言われています。

青春とは人生のある期間ではなく
心のもちかたをいう
人間は年を重ねた時に老いるのではなく
理想をなくした時に老いる
サムエル・ウルマン『青春』から